



2025 年度 入学試験要項

総合型選抜

同窓生推薦入試

本学の建学の精神と基本理念、各学部・学科の教育研究上の目的及び3つのポリシーを理解し、本学の学習・教育環境を積極的に活用して、深い知識と幅広い領域の学修を志している意欲に燃えた学生を求めます。なお、各学部・学科が教育研究上の目的を達成するための基本とされる知識を有することが必要です。そのためには高等学校での基礎となる教科等の勉学を必要とし、積極的な学習姿勢を堅持していることが大切です。その上で、皆さんが本学での学生生活を十分理解し、明確な勉学目的と意思を持って入学されることを期待しています。

■ 建学の精神

「不言実行、あてになる人間」

■ 基本理念

中部大学は、「不言実行、あてになる人間」を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成するとともに、優れた研究成果をあげ、保有する知的・物的資源を広く提供することにより、社会の発展に貢献します。

■ 学部教育の目的

本学の教育上の使命に沿い、それぞれの専門分野の基本的な考え方・知識・スキルとそれらを実社会で活用する能力、そして自ら学び続ける能力を身につけた、専門職業人／有識社会人となる人間を世に送り出します。

■ 3つのポリシー

各学科のディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)は本学ウェブサイトで公表しています。

ディプロマ・ポリシー(DP) : 卒業認定・学位授与に関する基本的な方針

カリキュラム・ポリシー(CP) : 教育の実施に関する基本的な方針

アドミッション・ポリシー(AP) : DP・CP に沿った学生募集の方針と入学者選抜の方法

各学科における3つのポリシー

<https://www.chubu.ac.jp/about/facts-figures/study/3policy/>

同窓生推薦入試

中部大学の同窓生推薦入試は本学の卒業生が本学への入学を強く希望する受験生に対し、責任をもって推薦することにより、これまでに修得した学業及び課外活動の実績等を基に評価し、自己の学修目的を認識し自己実現を図ろうとする意欲ある入学者を選考する入学試験制度です。

■入学試験要項について

中部大学入学試験の出願は、インターネット出願を利用します。この「入学試験要項」には、入試の概要と出願から入学手続までの事項を掲載しています。「入学試験要項」を熟読して内容を理解し、出願期間内に必要書類を送付してください。インターネット上での出願登録および入学検定料の支払いだけでは出願は完了しません。出願期間内に書類を送付しない場合や不備がある場合、出願は無効となります。詳細は [7](#) インターネット出願を確認してください。また、入試等についてのお問い合わせは、やむを得ない場合を除き志願者本人が行ってください。

■個人情報の取扱いについて

出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、

- (1) 入試の実施(出願処理・試験の実施等)
- (2) 入学手続

とこれらに付随する事項を行うために利用します。上記以外の目的で、本学が志願者本人に通知することなく個人情報を利用することはありません。

なお、本学は、上記利用目的のため、その業務の一部を本学が定める個人情報取扱の基準を満たす業者(以下、「委託業者」という)において行います。業務を委託するに当たり、委託業者に対して委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します。提供に際しては、委託業者に対して、契約により適切な管理を義務付けています。予めご了承ください。

氏名・住所・電話番号等は悪用されてはならない大切な個人情報です。これらを漏洩した結果、思わぬ深刻な事態に巻き込まれることがあります。自分や友人の個人情報は安易に他人に教えないようにしてください。**中部大学では、お問い合わせがあっても志願者の住所・電話番号などは教えません。**また、試験当日、試験会場及び駅周辺で合否連絡などを口実に、個人情報を記入させ、その場で連絡料などと称して金銭を支払わせていることがありますが、中部大学とは一切関係がありません。十分注意してください。中部大学の合否発表は、インターネットを利用して行います。

■不測の事態が発生した場合について

災害等不測の事態が発生したことにより、入試の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトまたは[「CUhub」マイページ](#)で周知しますので注意してください。

入試に関するお問い合わせ先

中部大学入学センター TEL(0120)873-941
午前9時～午後5時(平日のみ)

[「CUhub」](#)マイページの操作に関するお問い合わせ先

サポート窓口 TEL(0120)752-257
○期間 出願期間中
○時間 午前9時～午後8時

出願書類の不備に関する連絡先 ※出願書類に不備のあった方に本電話番号より連絡します。

中部大学入学願書受付センター TEL 0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244

- 期間 出願期間中
○時間 午前9時～午後5時(平日のみ)

○不備書類再送先 ※中部大学の住所とは異なります。

出願書類に不備があった場合、以下の住所宛に簡易書留・速達で再送してください(通常の出願時は、「宛名ラベル」を使用し郵送してください)。

〒481-8585 (住所不要)中部大学入学願書受付センター

入試当日のお問い合わせ先

中部大学代表電話 TEL(0568)51-1111

4年後の夢の実現を目指して、全学をあげてサポートします！

中部大学では、就職指導を全学部に通ずる教育の一環ととらえています。充実したサポート体制で毎年、全国トップクラスの就職実績を実現！
メーカーからサービス業、医療機関や教育機関、公務員まで幅広い分野へ多くの卒業生を輩出しています。



資格試験対策講座

各種資格取得を目指す学生のために
資格試験対策講座を開講しています。

資格試験 対策講座

3つの特長

- ① 「資格の大本」の
プロ講師が講義。
- ② 公務員試験対策は2次対策も含めて
対応。国家公務員対策もあり。
- ③ 中部大学後援会からの
補助により割引料金で受講可能。

夢をかなえる就職をしっかりとサポート。

一般企業を目指す学生も！

4年後の、自分の姿をしっかりと考えるためのキャリア支援プログラムを実施。3分の1の学生が企業とマッチングする学内業界セミナーの開催や、学内合同企業セミナー、学内個別説明会、OBOGとの交流会など、多彩な就職支援プログラムを用意しています。



教員を目指す学生も！

教職課程センターが幅広くサポートしています。年間を通じて説明会やガイダンス、対策講座などを開講。講義や単位、採用試験の情報や教育実習に関することなど、なんでも気軽に相談できます。



公務員を目指す学生も！

講義後に、学内で受講できる公務員教養対策講座を開講。講座は多くの合格者を輩出した実績のある講師が担当し、親身に相談にも応じます。



大学院への進学もしっかりサポート。

多彩な経済的支援

【奨学金制度】

本学大学院進学希望の学生より選考されます。本学大学院博士前期課程を修了し、修士号を取得した学生は **返還免除** になります。

【授業補助員制度(T.A.)】

本学の大学院生をティーチング・アシスタント(T.A.)として雇用し、講義や実験・実習の指導補助などの業務を担当してもらいます。大学院生の経済的支援と、学部教育の充実を図っています。



説明会や交流会を開催

大学院進学に興味のある学生を対象に、教職員による説明会や、大学院生・教員との交流会を開催しています。

大学院の科目を先取りできる

学部4年次に、本学大学院の講義を早期に履修できる制度があります。

他大学の大学院への進学もしっかりサポート！

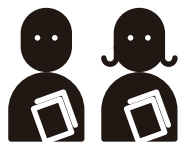
2023年3月卒業生 他大学院進学実績

名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、名古屋市立大学大学院、愛知教育大学大学院、京都大学大学院、京都工芸繊維大学大学院、九州大学大学院、東北大学大学院、岐阜大学大学院、三重大学大学院、静岡県立大学大学院、鳴門教育大学大学院、立命館大学大学院、藤田医科大学大学院、愛知大学大学院、オハイオ大学大学院

数字で見る、ワンキャンパスに広がる成長機会の数々。

一生の師や仲間になんと出会える！

講義やイベント、クラブ・サークル活動など、新しい出会いと交流の機会がたくさんあります。



学生数

10,969人



教員数

506人

※2023年5月1日現在

文理医教の学びが集合したカラフルなキャンパス！

8学部 27学科 4専攻

各学科の専門性を生かした
魅力ある講義を開講！

全学部・学科
開講講義数

4,670講義

※2023年度開講実績

他学科の講義にチャレンジできる！

総合大学の強みを生かし、他学部・他学科の専門科目を履修することができます。

他学科の学生が履修できる講義数

2,937講義

※2023年度開講実績

他学部・他学科履修者数

3,182人

※2022年度実績(のべ人数)

世界中に広がるネットワーク

学術交流協定数

24カ国・地域
60大学・機関



※2024年1月現在

全学生
対象

オハイオ大学 長期研修プログラム

参加者数

累計1,699人

※1994年4月～2023年12月の累計

留学・海外研修プログラム数



25種

※2023年度

全国でも有数の研究力を誇る中部大学 この研究力が皆さんの授業や研究に生かされています。

社会の発展に貢献
高度な研究力の証明

科学研究費補助金ランキング
(配分総額)

愛知県内
私立大学

2位※

※朝日新聞社「大学ランキング2024」をもとに、
愛知県内の私立大学を独自集計

科学研究費補助金とは——
豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆
的な研究に対する助成を行うもの

世界的な学術誌『Nature』が
研究力を評価

研究力ランキング

中部地区
私立大学

1位※

※学術誌『Nature』: Nature Index 2023 tables:
Institutions-academicより

Natureとは——
科学技術のあらゆる分野における高品質か
つ先端科学を伝える世界的な学術誌

目 次

■出願の前に

1. 募集人員	6
2. 入試日程および時間割	7
3. 出願資格	8
4. 選抜方法	8

■出願方法

5. 出願書類	9
6. CUhub(シーユーハブ)マイページ	11
7. インターネット出願	13
8. 出願上の注意	15
9. 受験上の配慮申請について	16

■試験／合格発表／入学手続

10. 受験票	17
11. 試験当日の注意	18
12. 試験会場	19
13. 合格発表	21
14. 入学手続	22

■学費／アドミSSION・ポリシー

15. 2025年度入学者学費等	23
16. アドミSSION・ポリシー	24
17. 入学検定料の返還	37
18. 入試における学力の3要素	37

入学検定料返還申請書

志願受付確認票

1. 募集人員

学部	学科	募集人員
工 学 部	機 械 工 学 科	若干名
	都 市 建 設 工 学 科	
	建 築 学 科	
	応 用 化 学 科	
	情 報 工 学 科	
	電気電子システム工学科	
経営情報学部	経 営 総 合 学 科	
国際関係学部	国 際 学 科	
人 文 学 部	日 本 語 日 本 文 化 学 科	
	英 語 英 米 文 化 学 科	
	心 理 学 科	
	歴 史 地 理 学 科	
	メディア情報社会学科	
応用生物学部	応 用 生 物 化 学 科	
	環 境 生 物 科 学 科	
	食 品 栄 養 科 学 科	
	〔食品栄養科学専攻〕 〔管理栄養科学専攻〕	

学部	学科	募集人員
生命健康科学部	生 命 医 科 学 科	若干名
	保 健 看 護 学 科	
	理 学 療 法 学 科	
	作 業 療 法 学 科	
	臨 床 工 学 科	
	スポーツ保健医療学科	
現代教育学部	幼 児 教 育 学 科	
	現 代 教 育 学 科 〔現代教育専攻〕 〔中等教育国語数学専攻〕	
理 工 学 部	数理・物理サイエンス学科	
	A I ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	
	宇 宙 航 空 学 科	

2. 入試日程および時間割

出願期間(最終日消印有効)	受験票発行開始	試験日	会場	可否発表
2024年11月1日(金) ↓ 2024年11月6日(水) ※出願登録は2024年10月11日(金)午前9時から最終日午後5時まで可能です。	2024年11月15日(金) 午前9時	2024年11月23日(土)	本学	2024年12月1日(日) 午前11時

- [注意]
- 最終日翌日の午前 9 時 30 分～正午に限り、中部大学入学センター窓口で出願書類を受理します。ただし、最終日翌日が土・日・祝日の場合は、翌平日午前9時 30 分～正午に受理します。なお、最終日翌日には新規の出願登録は受け付けません。
 - 出願・受験・可否・手続システム「CUHub」のアカウント作成は出願期間外でも可能です。出願登録は 10 月 11 日(金)午前 9 時から 11 月 6 日(水)午後 5 時の間に行い、出願期間内に到着するよう郵送してください。出願書類は出願期間最終日消印有効とします。出願登録期間中は 24 時間登録が可能です。
 - 入学検定料納入期限は、出願登録を行った翌日の 23 時 59 分(最終日は当日の 23 時 59 分)までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
 - 追試験日:2024 年 12 月 4 日(水)
感染症等により受験できない場合、対象となることがあります。詳細は 11 試験当日の注意を参照してください。

時間割

	9:40	10:00	11:30	12:00	12:45	
午前	集合		面接		適性検査 45分	終了
午後			集合			面接
			11:40	12:00	12:45	13:10
						14:40

集合時間

- の時間帯に集合してください。午前は 9:40、午後は 11:40(入室は 11:30 以降)です。
学科・専攻により、集合時間が異なりますのでご注意ください。

学部	学科(専攻)	午前	午後
工学部	機械工学科	●	
	都市建設工学科		●
	建築学科	●	
	応用化学科	●	
	情報工学科		●
	電気電子システム工学科		●
経営情報学部	経営総合学科	●	
国際関係学部	国際学科		●
人文学部	日本語日本文化学科		●
	英語英米文化学科		●
	心理学科		●
	歴史地理学科	●	
	メディア情報社会学科	●	
応用生物学部	応用生物化学科		●
	環境生物科学科	●	
	食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	●	
	食品栄養科学科 管理栄養科学専攻		●

学部	学科(専攻)	午前	午後
生命健康科学部	生命医科学科	●	
	保健看護学科		●
	理学療法学科	●	
	作業療法学科	●	
	臨床工学科		●
	スポーツ保健医療学科		●
現代教育学部	幼児教育学科		●
	現代教育学科 現代教育専攻	●	
	現代教育学科 中等教育国語数学専攻	●	
理工学部	数理・物理サイエンス学科		●
	A I ロボティクス学科		●
	宇宙航空学科	●	

3. 出願資格

次の1から3の条件をすべて満たし、本学への入学を強く希望する者

1. 本学の建学の精神・教育理念に賛同し、本学を専願とする者
2. 中部工業大学・中部大学(大学院、学部)、中部大学女子短期大学の卒業生が推薦する者
3. 日本の高等学校を卒業した者または2025年3月31日までに卒業見込みの者で、全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.0以上の者

4. 選抜方法

書類審査(調査書)および面接、適性検査(国語・数学・英語から学科指定の1教科)、志望理由書・入学後の目標および活動実績書で行う。

選抜方法	配点	備考
書 類 審 査	10点	志望理由・入学後の目標、活動実績書の内容
面 接	50点	約6分、個人面接 ※調査書の内容を含む
適 性 検 査	50点	国語・数学・英語から学科が指定する1科目・45分

※志願者数等によりグループ面接となる場合があります。

適性検査 学科が指定する科目

学部	学科・専攻	科目	学部	学科・専攻	科目
工 学 部	機 械 工 学 科	数 学	生命健康科学部	生 命 医 科 学 科	数 学
	都 市 建 設 工 学 科	数 学		保 健 看 護 学 科	国 語
	建 築 学 科	数 学		理 学 療 法 学 科	国 語
	応 用 化 学 科	数 学		作 業 療 法 学 科	国 語
	情 報 工 学 科	数 学		臨 床 工 学 科	数 学
	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科	数 学		ス ポ ー ツ 保 健 医 療 学 科	国 語
経 営 情 報 学 部	経 営 総 合 学 科	国 語	現 代 教 育 学 部	幼 児 教 育 学 科	国 語
国 際 関 係 学 部	国 際 学 科	国 語		現 代 教 育 学 科 現 代 教 育 専 攻	英 語
人 文 学 部	日 本 語 日 本 文 化 学 科	国 語		現 代 教 育 学 科 中 等 教 育 国 語 数 学 専 攻	英 語
	英 語 英 米 文 化 学 科	英 語	理 工 学 部	数 理 ・ 物 理 サ イ エ ン ス 学 科	数 学
	心 理 学 科	国 語		A I ロ ボ テ ィ ク ス 学 科	数 学
	歴 史 地 理 学 科	国 語		宇 宙 航 空 学 科	数 学
	メ デ ィ ア 情 報 社 会 学 科	国 語			
応 用 生 物 学 部	応 用 生 物 化 学 科	数 学			
	環 境 生 物 科 学 科	数 学			
	食 品 栄 養 科 学 科 食 品 栄 養 科 学 専 攻	国 語			
	食 品 栄 養 科 学 科 管 理 栄 養 科 学 専 攻	国 語			

適性検査の出題科目と出題形式

適性検査の出題科目と出題形式は以下のとおりです。なお、解答方式は全問マークセンス方式です。

科 目	出題範囲	出題形式
国 語	現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く)	漢字、語彙(慣用句・四字熟語等)、短文理解、長文読解(論理的文章)他
数 学	数学Ⅰ・数学A	因数分解、三角比、二次方程式、一次不等式、集合、命題、二次関数 他
英 語	英語コミュニケーションⅠ	短文空欄補充(語彙・熟語・前置詞・文法)、会話文空欄補充、発音、アクセント、語順整序、中程度の長さの文章読解 他

5. 出願書類

1. 出願確認票

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイドンス」へ進み、「CUhub」マイページのアカウントを作成します。
「STEP3 出願登録」から画面の指示に従って入力後、「STEP 4 出願確認・受験票出力」からプリントアウトし、提出してください。

2. 写真データ

「STEP 2 基本情報の登録と確認」から画面の指示に従って本人写真データをアップロードしてください。
出願時に登録したデータは入学後の学生証写真としても使用しますので、必ず私服で撮影してください(高等学校等の制服で撮影されたものは使用できません)。「背景の写り込み」「トリミングの不備」「手振れによる不鮮明」など、受験票および入学後の学生証の写真として利用できないと判断した場合も再撮影、再アップロードをお願いしております。
写真店や写真データ取得機能付きの証明写真機、証明写真アプリ等の利用を推奨いたします。

3. 調査書

学校長が出願期間初日から3カ月前までに作成し、厳封されたものを提出してください。

学校関係者のみなさまへ

調査書の作成に際し、下記のとおりお願い申し上げます。

1. 厳封された調査書であること。
2. 出願期間初日から3カ月前までの発行日付があること。
3. 卒業（見込み）年月の記載があること（例：20XX年3月卒業見込み）。
4. 証明の欄に校長印・記載責任者印があるもの。
記載責任者氏名は、実際に調査書を作成するにあたって記載した学級担任等の氏名を記載してください。
5. 高等学校全期間の成績が記載されたもの。

卒業見込み者は第3学年1学期または前期までの成績が記載されたもの（出願時に最新のもの）。

第3学年1学期または前期までの成績が出せない場合は履修中科目を記入してください。

① 3学期制：第2学年3学期までの成績と第3学年の履修科目（注）が記載されたもの。

② 2学期制：第2学年後期までの成績と第3学年の履修科目（注）が記載されたもの。

（注）第3学年の履修科目の記入例

第3学年の成績記入欄に「＊」等の記号を付した上、備考欄に「第3学年1学期または前期までの成績が出せないため、第3学年の履修科目に「＊」を記載済み」といった一文を記入してください（手書き可）。「＊」等の記号を付けられない場合、第3学年の履修科目を記入した別紙を添付してください。

日本国内で2つ以上の高校に在籍していた場合

調査書に加え、前籍校の証明書を以下1～3いずれかの方法で提出してください。

1. 厳封された前籍校の調査書（または成績証明書※）を提出
2. 編入・転入した高校が保管する前籍校の成績証明書のコピーに、学校長の署名と公印で原本と相違ないことの証明を受け添付
3. 編入・転入前の成績を転記した場合は、調査書に「前籍校の在籍期間」「〇〇高校からの転記」と明記
※在籍期間が短く調査書や成績証明書が発行されない場合は、その旨を記した高校作成のメモと「在籍／在学証明書」を提出してください。

海外の高校から編入・転入した場合や、海外留学により単位認定を受けた場合

編入前に在籍していた高等学校や留学先の高等学校の発行する「成績証明書」を必ず調査書に添付してください（あわせて、「成績証明書」の日本語による翻訳も添付してください）。証明書がコピーの場合には、学校長の署名、公印で原本と相違ないことの証明を受けてください（ただし、成績を読み替えた場合は、前籍校／留学先の成績証明書は不要です）。単位認定を受けない海外留学の場合も提出不要です。

4. 志望理由・入学後の目標(所定の様式)

所定の様式を、本学ウェブサイトからダウンロード・プリントアウトし、アドミッション・ポリシーの求める人間像と関連した本学の学部・学科(専攻)を志望した理由および入学後は何をどのように学びたいかを記入して、提出してください。

5. 活動実績書

所定の様式を、本学ウェブサイトからダウンロード・プリントアウトし、記入後提出してください。

アドミッション・ポリシーの求める人間像1～4に関連した活動実績や資格取得等がある場合に記入してください。

また、根拠資料がある場合、書類のコピーを添付してください。添付する書類の裏面に志望学科、氏名を記入してください。

記載する内容がない場合も必ず提出してください。

6. 推薦書(A4)

所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロード・プリントアウトし、中部大学卒業生から推薦書を受領してください。

7. 中部大学卒業生(推薦者)の卒業証明書

(推薦者の方に依頼をしてください。なお、卒業証明書については、本学の教務支援課で発行しています。)

卒業証明書の発行については、以下のサイトを参照してください。

<https://www.chubu.ac.jp/graduates/certificate/>

入学検定料

入学検定料 **35,000円** 納入期限 **2024年11月6日(水)**

※別途インターネット出願に関するサービス利用料がかかります。

いったん納入された入学検定料および出願書類は、返還いたしません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は [17](#) 入学検定料の返還を参照してください。

出願書類の確認について

書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。

電話番号 **0568-22-7220、0568-22-7223、0568-22-7244**からの着信を見逃さないようにしてください。

確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります。

6. CUhub（シーユーハブ）マイページ

アカウント作成

1. 「ガイダンスページ」へアクセスし、画面右上「マイページ」に進みます。
URL: <https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu>

ガイダンスページ



2. 「マイページを初めてご登録の方」へ進みます。
 - ① メールアドレスを入力。
 - ② 1～2分後に届く確認メール(※)に記載のURL をクリック。
※上記のメールアドレスに利用者登録を完了させるメールを配信しますので、ドメイン指定受信を設定されている方は [@52school.com] を受信できるように事前に設定してください。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダに振り分けられていないか確認してください。
 - ③ パスワードを設定します。
 - ④ 再度マイページTOP画面に戻り、作成したアカウント(メールアドレス・パスワード)でログインしてください。
※アカウント情報(メールアドレス・パスワード)を忘れないようにしてください。

マイページTOP

メールアドレス登録（初回のみ）

パスワード登録(初回のみ)

マイページメニュー

マイページでは、出願、受験票の発行、可否結果の閲覧、入学手続を行うことができます。

以下 STEP1~4 の手順に従って手続を進めてください。

STEP 1 ガイダンス閲覧・確認

出願方法や入学試験要項を確認し、事前に作成する書類、データを用意します。

STEP 2 基本情報の登録と確認

住所・氏名・出身高等学校等の基本情報を登録してください。基本情報の登録は出願期間外でも可能です。

基本情報の登録完了後、証明写真(高校等の制服不可)をアップロードしてください。写真は入学後、学生証等の写真に使用します。

アップロードする前に STEP 1 で写真に必要な要件を確認してください。

STEP 3 出願登録

画面の指示に従って、出願登録を進めてください。

出願登録は 2024 年 10 月 11 日(金)から行うことができます。出願期間は **2** 入試日程および時間割に掲載しています。内容をよく確認した上で登録を進めてください。

STEP 4 出願確認・受験票出力

出願確認や、受験票の出力ができます。この画面から出願確認票を出力し、出願書類を同封の上、郵送することで出願が完了します。

可否結果

可否結果を確認することができます。

入学手続

合格通知書、入学金・授業料等の振込用紙の出力ができます。入学手続書類もこちらから作成します。

「CUhub」マイページTOP

The screenshot displays the 'マイページメニュー' (My Page Menu) interface. It features a vertical flow of steps: STEP1 (ガイダンスの準備), STEP2 (個人情報の登録と確認), STEP3 (出願登録), and STEP4 (出願確認・受験票出力). Each step includes a title, a brief description, and a '進む' (Next) button. Below the steps, there are six quick-action buttons: '志望する学部学科の変更' (Change desired faculty/course), '資料請求' (Request materials), '内定承諾' (Accept offer), '入学申請' (Apply for admission), 'メールアドレス変更' (Change email address), and 'パスワード変更' (Change password).

7. インターネット出願

本学ウェブサイトから「インターネット出願ガイダンス」に進み、出願に関する手順や注意事項を確認してください。確認後、「マイページ」へ進み、「^{シーユーハブ}CUhub」アカウントを作成します。マイページログイン後、以下の手順で出願登録をしてください。画面イメージは[6]CUhub(シーユーハブ)マイページで確認してください。

STEP 2 基本情報を入力

氏名、住所、連絡先、高等学校等の基本情報、写真データを登録します。

STEP 3 出願登録

入試方式、志願学科・専攻、志願者情報、アンケート等を登録し、「コンビニエンスストア」、「Pay-easy〈ペイジー〉対応銀行ATM」、「クレジットカード」、「ネットバンキング」、「PayPay」のいずれかの方法で入学検定料を支払います。

STEP 4 出願確認票の出力

出願確認票・宛名ラベルをプリントアウトし、出願書類一式を封入し郵送します。封筒(市販の角2封筒)は各自で用意してください。

**必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。**

インターネット出願のよくある質問

入学検定料納入後に入力ミスに気付いた等、よくある質問については、以下インターネット出願ガイダンス「よくある質問」をご参照ください。
<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



出願登録画面の操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL (0120)752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

1. 書類一覧

- A. 出願確認票(写真データ) ※写真は高校等の制服不可
- B. 宛名ラベル(A4) Aと同時に印刷
- C. 封筒(角2サイズ) 市販の角2封筒(各自でご用意ください)。
- D. 調査書 高等学校で発行。出願期間初日から3ヵ月前までの発行日付があること(厳封)。
- E. 志望理由・入学後の目標、活動実績書 . . . 本学所定の様式を使用。
- F. 推薦書 本学所定の様式を使用。中部大学卒業生からの推薦書を受領する。
- G. 中部大学卒業生(推薦者)の卒業証明書

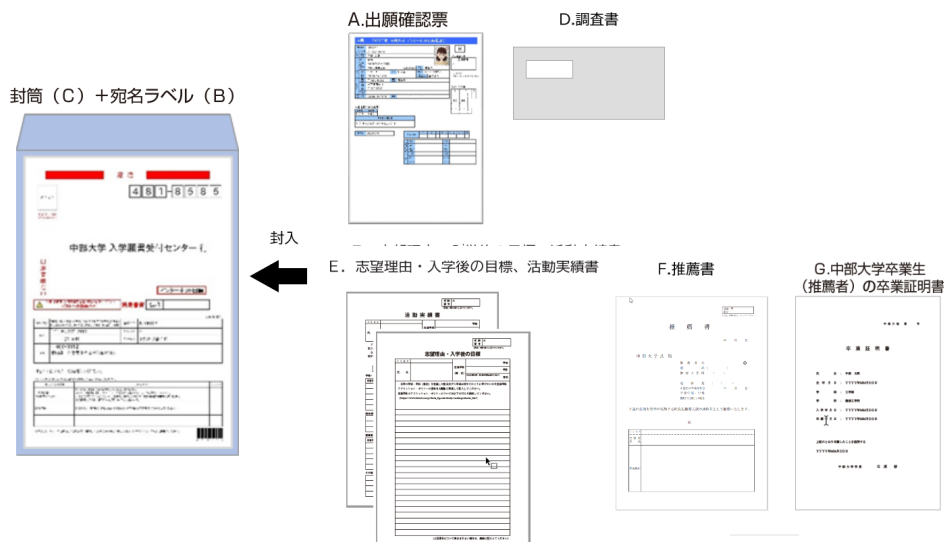
※E・Fについては、本学ウェブサイト「入試情報>入学試験要項」より様式をダウンロードの上、作成してください。



※図はイメージであり、実際のものとは異なる場合があります。

2. 書類を封入

「封筒(C)」に「宛名ラベル(B)」をのり付けし、「出願確認票(A)」と「調査書(D)」「志望理由・入学後の目標、活動実績書(E)」「推薦書(F)」「中部大学卒業生(推薦者)の卒業証明書(G)」を封入します。「出願確認票(A)」は折り曲げて封入してもかまいません。



3. 郵送

8 出願上の注意をよく読んで上で、出願期間内に中部大学入学願書受付センターまで郵送(速達・簡易書留)してください。

必要書類を不備なく全て郵送することで出願が完了します。
入学検定料納入完了後、出願書類を印刷し、必ず郵送してください。

8. 出願上の注意

1. 入学検定料の他に、インターネット出願に関するサービス利用料が一律1,100円かかります。
2. 入学検定料払込期限は、インターネット入力を行った翌日の23時59分(締切日は当日の23時59分)までです。払込期限を過ぎると、出願内容が取り消されますのでご注意ください。
3. 出願期間の最終日は、入学検定料払込みと郵送手続きの時間を考慮してインターネットによる出願登録を17時までとします。最終日に入学検定料払込みおよび出願書類の郵送をする場合は、郵便局での取扱時間を確認し、最終日当日の消印に間に合うように、余裕を持って支払い手続きを行ってください。
4. 締切時刻間際になりますとアクセスが集中し、登録できない状態になることがあります。時間に余裕を持ってお早めに登録を行ってください。
5. 出願書類に不備・不足等がある場合は受け付けません。出願に際しては十分注意してください。
6. 出願後の志望学科・専攻および入試方式(入試日を含む)の変更は一切認めません。
7. いったん納入された入学検定料及び出願書類等は、返還しません。ただし、入学検定料は事由によって返還する場合があります。詳細は [17](#) 入学検定料の返還を参照してください。
8. 出願書類に虚偽の記載があった場合、また、当然記載されるべき事項の記入がなかった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
9. 受験上の配慮を希望される場合は、各入試の出願に先立って、[出願期間初日の6週間前までに、必ず中部大学入学センターへ相談してください](#)。詳しくは、[9](#) 受験上の配慮申請についてをご確認ください。なお、申請前に中部大学のキャンパス(設置場所、環境等)を見学されることをお勧めします。
10. 書類に不明瞭な箇所があった場合、確認のため電話連絡をすることがあります。
電話番号[0568-22-7220](#)、[0568-22-7223](#)、[0568-22-7244](#)からの着信を見逃さないようにしてください。
[確認・連絡ができない場合、受験できない可能性があります](#)。
11. 出願書類は、出願登録後可能な限り速やかに郵送してください。出願期間前日までに到着した出願書類は11月1日以降随時開封し、内容確認します(無効となりません)。
12. 本学では、可否結果は各学校の進学指導上重要な情報と考え、出身学校へ情報提供を行っています。各出身学校長には、「進学指導への活用」に限定した取り扱いをお願いしています。なお、可否結果の通知・情報提供を承諾しない方は、インターネット出願登録画面で登録を解除してください。通知承諾の可否は可否に一切関係しません。

同窓生推薦入試と公募制推薦入試【併願】の両方に出願する際の注意

1. 同一学科・専攻に限り、公募制推薦入試(併願)と同窓生推薦入試の両方に出願することができます。
2. 一度にまとめて出願することはできません。入試ごとに登録書類(登録確認票、調査書、推薦書、活動実績書等)の提出が必要となります。また、2出願目による入学検定料の割引は適用されませんので、ご注意ください。
3. 両方に合格した場合、同窓生推薦入試の合格を優先しますので、ご注意ください(専願の合格者として扱います)。
4. 同一期間に実施される本学の特技推薦、指定校推薦、併設校推薦入試との併願、同時出願はできません。

9. 受験上の配慮申請について

病気・負傷や障がい等のために受験上の配慮を必要とする場合は、**出願期間初日の6週間前まで**に事前申請を行ってください。複数入試の受験を希望する場合は、初回入試の申請期日までに申請してください。申請に間に合わない場合は、当該入試での配慮提供(支援)ができない場合がありますので、予めご承知おきください。申請内容に基づき、個々の症状や状態、程度に応じて受験上の配慮について検討しますが、場合により、事前面談をお願いすることや、ご希望に添えないこともあります。ただし、事前面談の要否や内容が合否に影響を与えることはありません。急な病気や怪我のため、受験に際し、配慮が必要となった場合はすみやかに本学入学センターまでご連絡ください。**修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまで**お問い合わせください。

■申請の流れ

1. 電話による申し込み

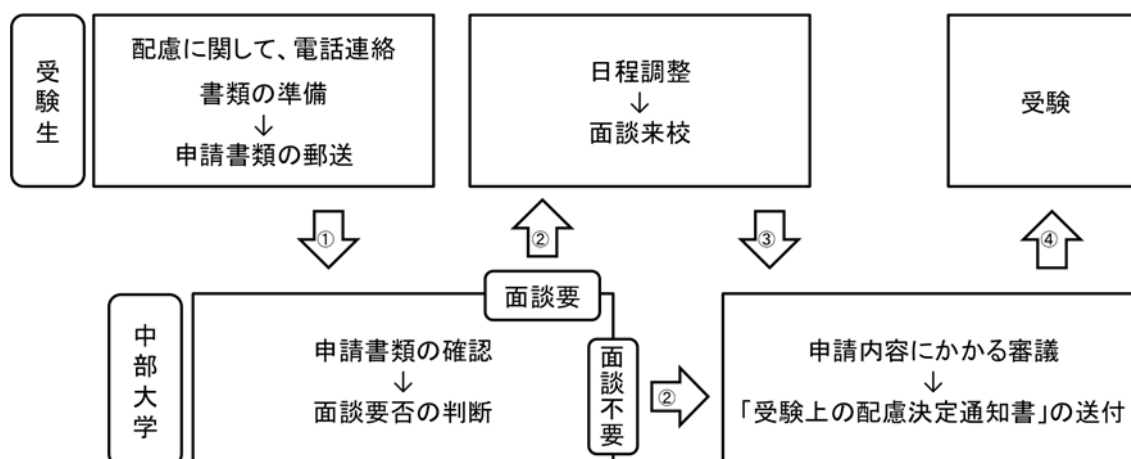
- ・ **出願期間初日の6週間前まで**に本学入学センターへ電話にてお問い合わせのうえ、申請書類を提出してください。
- ・ 必要に応じて、本学にお越しいただく場合があります。

2. 申請書類の提出

以下①～④の書類を本学入学センターへ提出してください。

- ① 受験・修学上の配慮申請書(本学ウェブサイトからダウンロードし、必要事項を記入)
- ② 医師の診断書のコピー(現在の体調および必要な措置に関する医師の見解について、具体的に示されたもの)
- ③ 大学入学共通テスト「受験上の配慮事項審査結果通知書」のコピー(該当者のみ)
- ④ 障害者手帳等の写し(該当者のみ)

【申請のフロー】



3. 配慮事項決定通知について

- ・ 提出された申請書類に基づき、本学で配慮事項を決定し、配慮事項決定通知書を送付いたします。入試当日は、決定通知書を持参してください。
- ・ 決定に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。

お問い合わせ及び申請書類の送付先

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200
中部大学 入学センター「受験上の配慮申請担当」宛
電話 0568-51-4715 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

修学上の配慮に関するお問い合わせ窓口

修学上の配慮に関するご相談がある場合は、学生サポートセンターまでお問い合わせください。
中部大学 学生サポートセンター
電話 0568-51-4478 ※受付時間 平日：午前9時～午後5時

10. 受験票

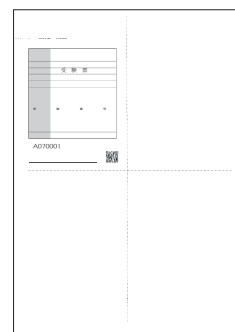
受験票は「CUhub」マイページから「STEP 4 出願確認・受験票出力」に進み、ダウンロード・プリントアウト(A4・モノクロ可)し、入試当日持参してください。

受験票の郵送は行いません。なお、出願手続に不備があった場合は、その事後処理が終わるまで受験票の発行はできません。

発行開始日時: 2024 年 11 月 15 日(金) 午前 9 時

必ずA4 で印刷してください(モノクロ可)。

※図はイメージであり、実際のものと異なる場合があります。



受験票記載内容の問い合わせについて

入試制度・志望学科(専攻)が出願時に入力したものと違う場合、至急中部大学入学センターに連絡してください。

氏名の入力ミスは、入試当日「仮受験票交付所」に申し出てください。

※コンピュータ処理上表記できない文字(氏名等)は、常用漢字またはカタカナに置き換えます。受験には差し支えありません。

お問い合わせ先 中部大学入学センター TEL.0568-51-4715

受験票発行・操作に関するお問い合わせ

以下よりインターネット出願ガイダンスの「よくある質問」をご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-chubu/faq/>



「CUhub」マイページの操作に関するお問い合わせ先

「インターネット出願ガイダンス」や「よくある質問」への掲載がなく、解決しない場合は以下のサポート窓口へお問い合わせください。

サポート窓口 TEL 0120-752-257

○期間 出願期間中

○時間 午前9時～午後8時

11. 試験当日の注意

1. 持参するもの	1. 受験票 プリントアウト(A4モノクロ可)したものを持参してください。紛失又は忘れた場合、「仮受験票交付所」に申し出て、仮受験票発行の手続きをしてください。試験室の入退室時には、受験票を携帯してください。詳細は「10」受験票を参照してください。 2. 筆記用具 HBの鉛筆、シャープペンシル、プラスチック消しゴム ※下敷き等の使用は認めません。 3. 時計 時計以外の機能がついたものの使用は認めません。 4. 昼食 昼食をとる場合は持参のうえ、自席でとってください。 5. その他 ひざ掛け、座布団、クッションなどは、試験当日に監督者が不正行為の可能性がないか確認した上で、使用を認めます。事前の使用許可申請は不要です。
2. 試験室の入退室	1. 試験会場は11時40分に開場します。 2. 受験者は入試前日までに本学ウェブサイトで試験室を確認してください。 3. 携帯電話等の使用は認めません。試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。 4. 机に示した受験番号を確認の上、集合時間までに指定の場所に着席してください。 5. 試験開始後30分までの遅刻は認めます。ただし、そのための試験時間の延長はしません。また、30分以降の遅刻は欠席者とみなし受験できません。公共交通機関の遅延等による場合は、TEL.0568-51-1111(中部大学代表番号)に連絡し指示を受けてください。 6. 試験時間中は、試験終了まで途中退室を認めません。なお、試験中の発病又はトイレ等やむを得ない場合は、すぐに監督者に申し出てください。ただし、一時退室した分の試験時間の延長はしません。
3. 試験時間中の注意	1. 試験室では、受験票を机上の番号札の横に置き、監督者の指示に従ってください。 2. 携帯電話等は試験室に入る前に電源を切り、カバンにしまってください。試験時間中、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ)、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器や、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すると不正行為となります。 ※ただし、使用が認められている場合を除く。イヤホンは装着していれば使用しているものとします。不正行為を行った場合、当該年度全ての入試の成績を無効とします。また、納入済の入学検定料、入学料は返還いたしません。 3. 解答用紙に、受験番号・氏名等を正しく記入してください。正しく記入されていない場合は、採点できないので注意してください。また、マークシートは汚したり、折り曲げたりしないでください。
4. 受験上の配慮について	病気・ケガ等で通常の試験室での受験に支障がある場合は、「9」受験上の配慮申請についてを確認してください。
5. 受験できない者	学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等)に罹患し、試験当日までに出席停止期間を経っていない場合は、他の受験者や監督者等に感染のおそれがあるため受験することができません。これらに該当する場合は、追試験(2024年12月4日実施予定)の対象となります。該当者は、試験当日午前9時30分までに入学センターへ連絡後、「診断書」を郵送してください。詳細は個別にお知らせします。なお、追試験についての追試験はありません。
6. その他	1. 荒天等による交通機関への影響に十分注意し、遅刻しないようにしてください。 2. 災害等不測の事態が発生したことにより、入試の実施等に支障が生じた場合は、本学ウェブサイトで周知しますので注意してください。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

入試における不正行為の取り扱いについて

中部大学では入試における公平性・公正性を確保するため、不正行為について厳正に対処します。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。

また、当該年度全ての入試において、成績を無効とします。

不正行為の範囲と対応の詳細は、以下のウェブサイトまたは右のQRコードよりご確認ください。

<https://www.chubu.ac.jp/admissions/entrance-exams/notice/>



12. 試験会場

中部大学 〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200 TEL.0568-51-1111(代表)

1. 試験室の詳細・集合場所は、入試の前日までに本学ウェブサイトでお知らせします。
2. 受験生・付添者は、キャンパスプラザを控室として利用できます。

本学までの交通機関

1. JR中央本線「神領」駅下車

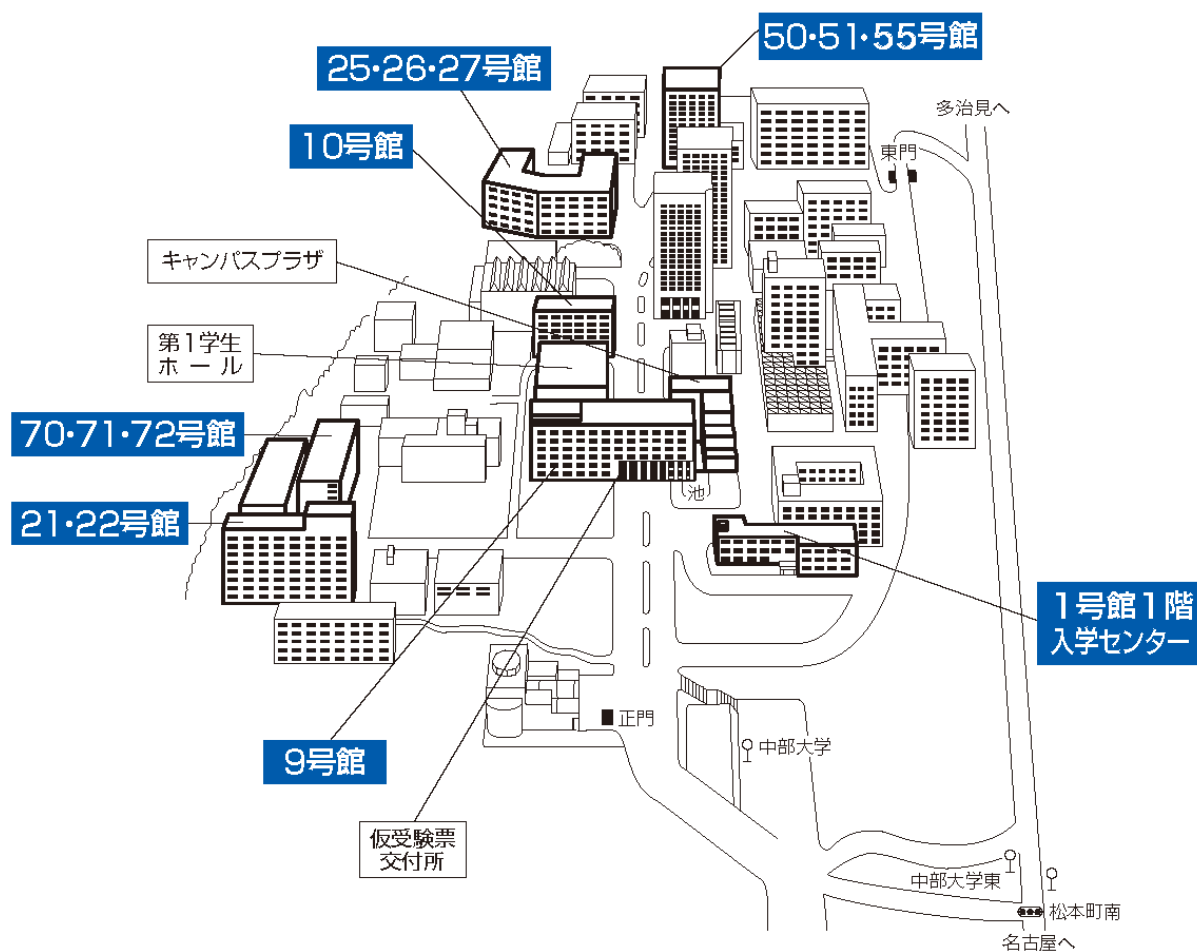
- (1) 普通列車に乗車してください。快速列車は停車しないので注意してください。
- (2) 神領駅北口から名鉄バス中部大学線(片道220円)を利用してください。所要時間は約10分です。
なお、利用が集中する時間帯は適宜臨時便を追加して、約10分間隔で運行する予定です。

2. JR中央本線「高蔵寺」駅下車

高蔵寺駅から名鉄バス「中部大学」行をご利用ください。発着数が少ないため、ご利用の際は時刻表を十分確認してください。

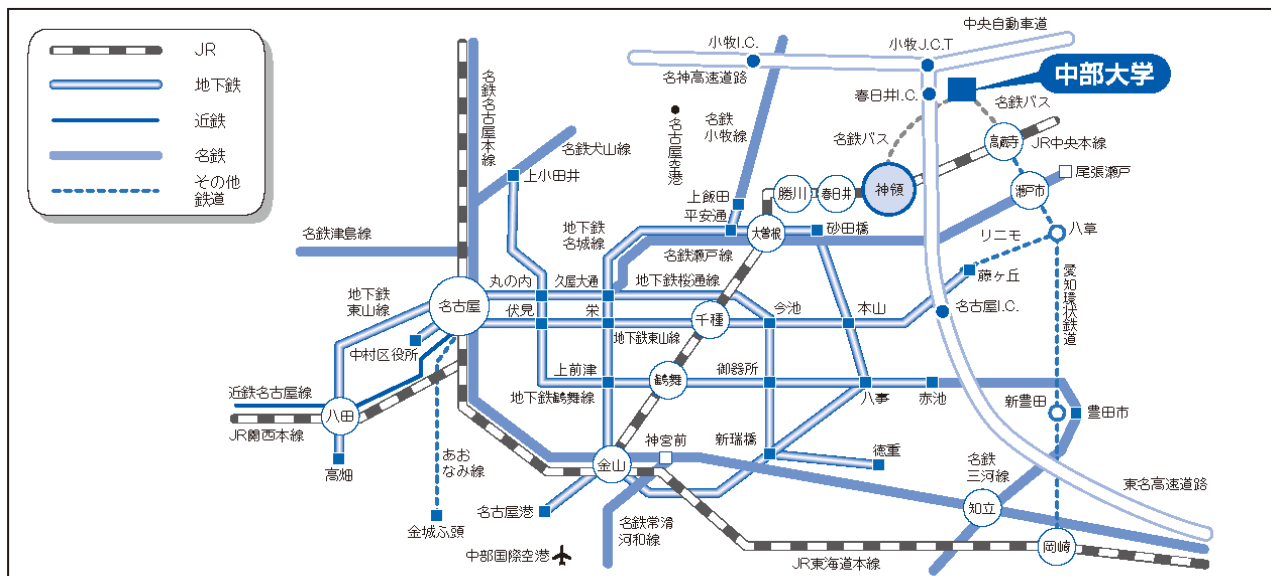
3. 自家用車

大学構内の駐車場が利用できますので正門から入場してください(入試当日大学構内は一方通行となります)。例年、路上駐車や近隣店舗への駐車が多く、周辺地域の方々から苦情が寄せられます。近隣の皆様への多大な迷惑となりますので、マナーを守ってご来校いただきますようお願い申し上げます。

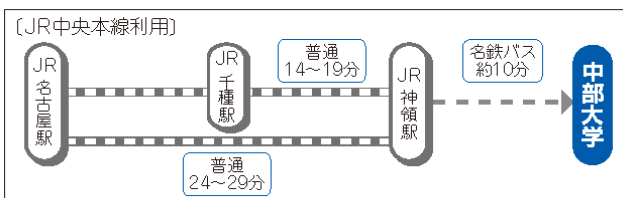
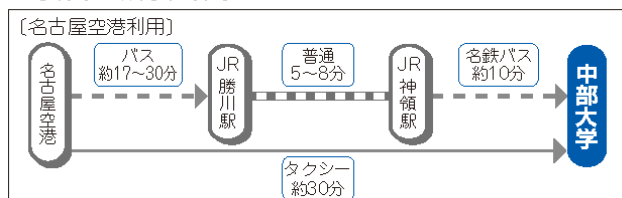


試験会場の下見について

試験会場の下見は入試前日の午後に行ってください。なお、試験室には入れません。建物の外観確認に留めてください。



主要交通所要時間



13. 合格発表

合格発表日の午前11時から「CUhub」で合格結果を発表します。「CUhub」マイページにログインし、「合格結果」から確認してください。

合否発表日時

2024年12月1日(日) 午前11時

注意事項

- (1) 電話やメール等による合否の問い合わせには一切応じません。
- (2) **合否に関する通知書の送付は行いません**。合格通知書が必要な方は「CUhub」マイページより「入学手続」に進み、ダウンロードしてください。
- (3) サービス開始直後はアクセスが多くつながりにくい状態が予想されます。その場合はしばらく時間をおいてからアクセスしてください。
- (4) 「CUhub」合否結果の「誤操作」「見間違い」等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

合格された方へ

今年度の本学入試で、すでに合格と判定された方でも、特別奨学生入試または一般選抜(前期入試等)に出願することができます(専願入試の合格者は同一学科・専攻に限る)。

また、各入試の出願期間初日までに、今年度の本学入試を受験した方(受験票を持っている方※)は、**同一のCUhubアカウントから出願した場合、入学検定料を5,000円割引します**。なお、**特別奨学生または選抜奨学生として合格した場合、期日までに納められた入学金(入学後)・学費等(申請後)を返還します**。返還に関する詳細は、特別奨学生または選抜奨学生の「入学手続きの手引き」を参照してください。

※特別選抜入試・編入学試験・大学院入試・共通テスト利用入試を除く。

入学前ガイダンスの開催について

中部大学では、夢探究入試、同窓生推薦入試、学校推薦型選抜(公募制推薦入試、特技推薦入試、指定校推薦入試、併設校推薦入試)で合格し、入学を予定されている方を対象に「入学前ガイダンス」を開催します。このガイダンスは、高校生から大学生へスムーズに移行できるよう支援するためのものです。

入学前ガイダンス

日程 2024年12月8日(日)

場所 中部大学春日井キャンパス

*詳細については、大学公式ウェブサイト>入試情報>入学手続のページでご案内します。

<https://www.chubu.ac.jp/admissions/entrance-exams/procedure/>

14. 入学手続

1. 入学手続は「CUhub」の「[入学手続](#)」から行います。入学手続に関する書類等の送付はありませんので、各手続の期限にご注意ください。詳細は、本学ウェブサイト公開する[入学手続要項](#)で確認してください。
2. 入学手続期限は**締切日必着**です。期限を過ぎたものについては一切受理しません。**期限までに手続を完了しない場合、入学許可はその効力を失います。**
3. いったん納入された入学料および入学手続書類等は、返還しません。
4. [入学手続要項](#)の確認不足等を理由とした手続締切日後の入学手続は認めません。

入学手続期限(必着)

入学料の納入期限	授業料等の納入期限	書類の提出期限
2024年12月13日(金)	2025年1月17日(金)	2025年3月7日(金)

国の教育ローンについて

入学料、学費、教科書代、アパートの敷金・家賃など、入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度として、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」があります。詳しくは、「国の教育ローン」ウェブサイトをご確認ください。

高等教育の修学支援新制度について

中部大学は、「高等教育の修学支援新制度(給付奨学金・授業料等減免)」の対象機関として文部科学省より認定を受けています。なお、高校在学中に大学等奨学生採用候補者に決定された方(予約採用者)も、入学手続時に入学料と授業料の納付が必要です。入学後、減免対象者として認定を受けた方の口座に減免対象額を還付します。詳細はこちらからご確認ください。



15. 2025年度入学者学費等

学費等は春学期・秋学期の2回に分けて納入します。なお、保険料は改定される場合があります。詳しくは入学手続要項で確認してください。

(単位：円)

	工学部		経営情報学部		国際関係学部 人文学部		応用生物学部		現代教育学部		理工学部	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	465,000	465,000	365,000	365,000	385,000	385,000	465,000	465,000	360,000	360,000	465,000	465,000
施設設備費	130,000	130,000	110,000	110,000	110,000	110,000	130,000	130,000	110,000	110,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,300		3,300		3,300		3,300		3,300		3,300	
学生教育研究賠償責任保険料 ※1									1,360			
計	1,003,300	670,000	883,300	550,000	903,300	570,000	1,003,300	670,000	879,660	545,000	1,003,300	670,000
1年次	1,673,300		1,433,300		1,473,300		1,673,300		1,424,660		1,673,300	
2年次	1,360,000		1,120,000		1,160,000		1,360,000		1,150,000		1,360,000	
3年次	1,380,000		1,140,000		1,180,000		1,380,000 1,440,000 ※2		1,170,000		1,380,000	
4年次	1,400,000		1,160,000		1,200,000		1,400,000		1,190,000		1,400,000	

※1 委託徴収会費等 ※2 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

(単位：円)

	生命健康科学部											
	生命医科学科		保健看護学科		理学療法学科		作業療法学科		臨床工学科		スポーツ保健医療学科	
	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期	春学期 (入学手続時)	秋学期
入学料	280,000		280,000		280,000		280,000		280,000		280,000	
授業料	495,000	495,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	480,000	465,000	465,000	440,000	440,000
施設設備費	175,000	175,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	130,000	130,000	130,000	130,000
教育充実費	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
修学諸費	40,000	40,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000		
後援会費 ※1	50,000		50,000		50,000		50,000		50,000		50,000	
学生教育研究災害傷害保険料 ※1	3,370		3,300		3,300		3,370		3,370		3,300	
医学生教育研究賠償責任保険料 ※1	2,000		2,000		2,000		2,000		2,000			
計	1,120,370	785,000	1,045,300	710,000	1,045,300	710,000	1,045,370	710,000	1,020,370	685,000	978,300	645,000
1年次	1,905,370		1,755,300		1,755,300		1,755,370		1,705,370		1,623,300	
2年次	1,710,000		1,560,000		1,510,000		1,510,000		1,460,000		1,410,000	
3年次	1,730,000		1,580,000		1,530,000		1,530,000		1,480,000		1,430,000	
4年次	1,750,000		1,600,000		1,600,000		1,600,000		1,550,000		1,450,000	

※1 委託徴収会費等

入学料・後援会費・学生教育研究災害傷害保険料・医学生教育研究賠償責任保険料・学生教育研究賠償責任保険料は入学時のみ。

授業料・施設設備費	2年目以降年額各10,000円増額
教育充実費	2年目以降同額
修学諸費	2年目以降、生命医科学科は年額200,000円、保健看護学科は年額150,000円、 理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科は年額100,000円（ただし4年目150,000円）、スポーツ保健医療学科は年額100,000円、 現代教育学部は年額40,000円 3年目のみ、食品栄養科学科 管理栄養科学専攻は、年額60,000円

16. アドミッション・ポリシー

中部大学の各学科・専攻では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、以下の「求める人間像」を備えた人を求めます。

工学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

工学をはじめ科学技術全般に関心と学習意欲を持ち、工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

工学部 機械工学科

求める人間像1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、工学および機械技術に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 機械工学の基本を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

(6) 機械工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、機械工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくと望ましいこと

数学と物理の基礎、特に、指数・対数、三角関数・ベクトル、微分・積分、力のつり合い、物体の運動などを理解し応用できることが望まれる。

工学部 都市建設工学科

求める人間像1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、都市建設(まちづくり)に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。

(3) 都市建設工学を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。

(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

(6) 都市建設工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、地域のデザインを通して地球環境の保全、人間社会の持続可能な発展、災害対策に関わる領域で社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくと望ましいこと

高等学校の教育内容(数学・物理の基礎など)を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身につけることが望まれる。他者とのコミュニケーションをとる積極性と自分の考えを伝えるための表現力が望まれる。

工学部 建築学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、持続可能で豊かな社会を創造する建築に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 機能的で、安全、美しい建築のあり方を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 建築学とともに人間・社会・芸術に強い関心と高い学習意欲をもち、建築設計・計画、建築環境・設備、建築構造、建築生産、建築史、都市計画に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

数学、物理の基礎知識とその応用に資する読解力を身につけておくこと、地理歴史、芸術など日常的に幅広く学習する習慣を身につけておくことが望まれる。

工学部 応用化学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、化学を中心とした自然科学や工学分野に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 化学を中心とした科学技術を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 化学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、化学計測、無機・有機およびナノ複合材料、エネルギー、環境などの領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

高等学校で学ぶ化学、数学、物理に関する基本事項(モルや濃度の計算、指数・対数など化学に関連する数値の取り扱いを含む)を幅広く理解しておくことが望まれる。好奇心を持ち、わからない点を自発的に行動して解決するなど、学問に積極的に取り組む習慣を身につけておくことが望まれる。

工学部 情報工学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、発展し続ける情報工学の技術に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 幅広い情報工学の様々な分野を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) コンピュータの仕組みや応用に強い関心と高い学習意欲をもち、高度情報化社会において情報科学、ソフトウェア、情報通信、ハードウェアに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

高等学校の数学、物理、英語を理解しておくことが望まれる。また、論理的な文章に慣れておくことが望まれる。情報工学の技術や社会応用について、自ら調べ、勉強して理解しようとする積極性が望まれる。

工学部 電気電子システム工学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、電気工学や電子工学に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 電気工学や電子工学を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 電気電子システム工学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、電力・設備、電機・計測制御、材料・デバイス、通信・システムに関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

数学(三角関数、指数・対数関数、微分・積分、複素数、ベクトルなど)と物理(力学、電磁気など)を理解し、物事の探究に活用できることが望まれる。身の回りにある電気機器や電子機器について自ら調べ、仕組みを考えようとする姿勢を身につけておくことが望まれる。

経営情報学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

企業経営や情報ビジネスに強い関心を持ち、情報システムや会計をはじめとする経営・情報に関わる知識・技術を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

経営情報学部 経営総合学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、経営・情報・会計の分野に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 経営・情報・会計を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 企業経営と情報に強い関心と高い学習意欲をもち、経営者や会社のキーパーソンとして活躍しようとする意欲がある。または、情報システムの知識・技術に関わる領域や会計専門職や会計の知識に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の授業科目のうち、特に英語、数学、国語、地歴・公民の学習内容を習得していることが望まれる。また、経営・経済分野の新聞やニュースに対して、意見を言えるようにしておくことが望まれる。

国際関係学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

外国語や国際関係に強い関心を持ち、世界の動きを多面的に理解することを通して、多文化共生や国際的な事象に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

国際関係学部 国際学科

求める人間像1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、国際的な事象や世界の動きに関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 国際関係や他文化を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

(4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

(6) 世界各国・地域の人々の生活や社会制度、英語や中国語などの外国語、国際関係に強い関心と世界の動きを多面的に理解する学習意欲を持ち、積極的に他者とコミュニケーションを図り、多文化共生社会や国際政治・国際経済・国際協力に関わる分野で社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

国語・社会・英語についての基礎学力を有し、政治経済や倫理社会などにも意欲をもって取り組む習慣を身につけておくことが望まれる。

人文学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

人間や文化に関わる分野に強い関心と高い学習意欲を持ち、人文学の素養を身につけたたくましい社会人として、社会に貢献しようとする意欲がある。

人文学部 日本語日本文学科

求める人間像1

(1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、日本語・日本文学・日本文化に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

(2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 日本語・日本文学・日本文化を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 日本語・日本文学・日本文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、日本の言語や文化に関する深い知識と理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の教育内容(国語・歴史)の基礎などを幅広く理解し、読書を習慣化することが望まれる。自分の考えを伝えるための表現力と他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

人文学部 英語英米文化学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、英語圏の言語や文化、教育に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 英語だけでなく、英語圏の歴史や社会や文化、日本における英語教育を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 英語圏の言語・文化をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、本格的な英語運用能力と異文化理解力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校における英語や国語などの教育内容を理解し、自律した学習習慣を身につけておくことが望まれる。英語で積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲と英語圏の文化に対する強い関心があることが望まれる。ことばに対する強い関心があり、基礎的な英語運用能力を備え、さらに高めたいという意欲を有していることが望まれる。

人文学部 心理学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、人の「こころ」に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 心理学の幅広い領域を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 人の「こころ」をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、「こころ」に関する問題を論理的に解明し、表現する力を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

調査や実験等で得られたデータを統計的に分析するための数学的能力、論理的思考力を身につけておくことが望まれる。結果を読み取り、理解し、筋道たてて記述するための国語力を身につけておくことが望まれる。海外の文献を読むための英語力を身につけておくことが望まれる。

人文学部 歴史地理学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、歴史学・地理学に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 歴史学・地理学を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 歴史や地理をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、歴史学・地理学の専門知識と研究方法を活かすことのできる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

高等学校で学習する国語、社会、英語の内容を理解しておくことが望まれる。歴史または地理について自分の興味ある内容を積極的に説明できることが望まれる。

人文学部 メディア情報社会学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、メディア・情報・地域社会をはじめ、人間や文化に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) メディア・情報・地域社会をはじめ、人間や文化を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) メディア情報・地域社会をはじめ人間や文化に強い関心と高い学習意欲をもち、高度なキュレーションスキルとクリエーションセンスを活かすことのできる領域を通して、末長く社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

メディアの影響について考える姿勢を身につけておくことが望まれる。筋道の立った文章を書くための文章力を身につけておくことが望まれる。他者に自分の考えを表明できるコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。社会の中の出来事に関心をもつ姿勢を身につけておくことが望まれる。インターネット上の情報の真偽について考える習慣を身につけておくことが望まれる。

応用生物学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

バイオサイエンス・バイオテクノロジーや食・栄養分野に強い関心と高い学習意欲をもち、バイオ・食品・栄養・健康に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

応用生物学部 応用生物化学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、バイオサイエンスとバイオテクノロジーに関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) バイオサイエンスとバイオテクノロジーを学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 植物、動物、微生物のバイオサイエンスとバイオテクノロジーに強い関心と高い学習意欲をもち、医療や医薬品・食品などのバイオサイエンスとバイオテクノロジー分野に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の教育内容(化学、生物、数学など)を理解し、日常的な学習習慣を確立しておくことが望まれる。
自分の考えを表現できること、および筋道の通った文章が書けることが望まれる。

応用生物学部 環境生物科学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、持続可能な社会実現に必要な環境・生物に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) バイオサイエンスとバイオテクノロジーを基礎とした環境・生物を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) バイオサイエンスおよびバイオテクノロジーを応用した環境生物学に強い関心と高い学習意欲をもち、環境評価や環境問題の解決に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の生物・化学の基礎知識を習得し、環境・生物に関連する自然科学分野の文章読解力、作文能力を身につけておくことが望まれる。

応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、バイオサイエンスを基盤とした食と栄養に関する科学に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 「食」や「栄養」に関わる分野を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 「食」や「栄養」に強い関心と高い学習意欲をもち、食品科学と栄養科学に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の教育内容(特に国語、生物・化学、英語の基礎など)を理解し、日常的な自己学習の習慣を身につけておくことが望まれる。自分の考えを伝えるための表現力と他者とのコミュニケーションをとる積極性を身につけておくことが望まれる。

応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、食を通じた人の健康に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 栄養学を基盤とした食品の機能と人体の機能を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 「食」と「健康」に強い関心と高い学習意欲をもち、国家資格としての管理栄養士に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の国語、化学(化学基礎)、生物(生物基礎)などを理解しておくことが望まれる。管理栄養士の活躍する場とその役割を調べ、理解しておくことが望まれる。

生命健康科学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

ひとの健康を維持・増進する医療・疾病予防・リハビリテーション・運動などに強い関心と高い学習意欲をもち、保健医療領域を通して社会に貢献する意欲がある。

生命健康科学部 生命医科学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、生命科学に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 病気の予防や健康の維持増進の分野を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 病気の予防や健康の維持増進に対して強い関心と病気や健康不安の仕組みに学習意欲をもち、臨床検査、または薬物・資材・機器・医療技術の開発・研究および販売等を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくこと望ましいこと

高等学校の生物、化学、物理を理解しておくことが望まれる。生物では特に細胞、代謝、遺伝子、体内環境などを理解しておくことが望まれる。化学では溶液の濃度、物理では原子、力学、電磁気などを理解しておくことが望まれる。

生命健康科学部 保健看護学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、社会からあてにされる看護専門職者をめざして学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康の分野を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) ひとの尊厳と権利、ひとの暮らしと健康に強い関心と高い学習意欲をもち、看護の専門職として他職種と協働し社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

高等学校の教育内容(国語、生物・化学の基礎、保健・家庭科、数学の基礎など)を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身につけておくことが望まれる。対象・場面に即した言葉遣いと基本的な礼儀・マナーを習得しておくことが望まれる。

生命健康科学部 理学療法学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、理学療法士をめざして学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 医学・生命科学、理学療法を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 医学・生命科学、理学療法に強い関心と高い学習意欲をもち、理学療法に関わる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

高等学校の教育内容(国語、生物・化学・物理の基礎、数学の基礎など)を幅広く理解し、日常的な自己学習の習慣を身につけておくことが望まれる。自分の考えを伝えるための表現力と他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

生命健康科学部 作業療法学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、身体または精神に障害のある人々に対する作業療法に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 身体または精神に障害のある人々に対する作業療法を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 身体・精神の両面にわたるリハビリテーションに強い関心と高い学習意欲をもち、作業療法士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

高等学校の教育内容(国語、理科、家庭科、保健など)を幅広く理解し、自己学習の習慣など日常生活の自己管理能力を身につけておくことが望まれる。

生命健康科学部 臨床工学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、臨床工学に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 工学と医学が重なる領域を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 工学と医学が重なる領域に強い関心と高い学習意欲をもち、臨床工学技士に関わる領域で社会に貢献する意欲がある。
- 身につけておくとうまいこと

高等学校の数学、物理(物理基礎)、化学(化学基礎)、生物(生物基礎)を理解しておくことが望まれる。

生命健康科学部 スポーツ保健医療学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、スポーツや保健医療分野に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) スポーツや保健医療(医学)が重なる領域を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) スポーツや保健医療(医学)に強い関心と高い学習意欲をもち、スポーツ医学を国民の生活の質(QOL)の向上に役立てる領域を通して社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとうまいこと

高等学校の教育内容(国語、生物、数学、保健分野の知識など)を幅広く理解し、自己学習の習慣を身につけておくことが望まれる。自分の考えを伝えるための表現力、論理的思考力、読解力などを身につけておくことが望まれる。

現代教育学部

求める人間像1

本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

高等学校で修得すべき基礎知識・技能を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

他者と協働して課題解決にあたる姿勢・意欲を持ち、大学で学ぶために必要な思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身につけている。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

乳幼児および児童生徒の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、保育や教育などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

現代教育学部 幼児教育学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、乳幼児の保育・教育に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 乳幼児の保育・教育に関わる領域を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 乳幼児の保育・教育に強い関心と高い学習意欲をもち、幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

高等学校までの教育内容(国語の基礎知識、音楽・美術・保健体育に関する基礎技能など)を習得し、日常的な自己学習の習慣を身につけておくことが望まれる。自分の考えを伝えるための表現力と他者とのコミュニケーションをとる積極性が望まれる。

現代教育学部 現代教育学科 現代教育専攻

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、「次世代教育」の在り方に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 小・中学校、特別支援学校で求められる教育・支援活動に必要な知識や技能を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 児童生徒の教育に強い関心と高い学習意欲をもち、小学校教諭・中学校理科教諭・特別支援学校教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

高等学校までの教育内容(実技を含む)を理解しておくことが望まれる。また、習得した学習内容を説明できる表現力と他者とのコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。

現代教育学部 現代教育学科 中等教育国語数学専攻

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解するとともに、主体性を持って多様な人間と協働し、「次世代教育」の在り方に関して学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 中学校で求められる教育・支援活動に必要な知識や技能を学ぶための基礎的な学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 中学校教育に強い関心と高い学習意欲をもち、中学校国語教諭および中学校数学教諭などの専門職業人として社会に貢献する意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

国語志望者は、高校古典(古文・漢文)の理解をしておくことと、国語教科書「読書案内」に紹介されている本を読んでおくことが望まれる。数学志望者は、高校数学(数Ⅰ～Ⅲ、ABC)の理解をしておくことが望まれる。高等学校までに習得した知識・技能(特に国語・数学)について説明できる表現力と他者とのコミュニケーション能力を身につけておくことが望まれる。

理工学部

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
- (3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものを論理的に思考する力を有している。
- (5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 勤勉で、礼儀正しく、自己、他者を尊重し、理工学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、理工学技術領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

理工学部 数理・物理サイエンス学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 理学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 数学および物理学をはじめ科学技術全般に関心と高い学習意欲を持ち、数学およびデータサイエンス等の応用分野を含めた数理科学、物理学および物質科学や宇宙・地球科学等の応用分野を含めた物理科学に関わる領域を通して社会に貢献しようとする意欲を有している。

身につけておくとう望ましいこと

- ・数学、理科(物理・化学)、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 AIロボティクス学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) ロボット理工学とともに、ものづくりに強い関心と高い学習意欲をもち、機械、電気、電子、情報工学などに関わるロボット製作や工学デザイン領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくとう望ましいこと

- ・数学、理科(物理・化学)、国語、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では特に指数・対数関数、三角関数、微分・積分、図形の性質、場合の数と確率、数列、ベクトルなど。
- ・物理では様々な運動とエネルギー、波、電気と磁気、原子など。
- ・化学では物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質、有機化合物の性質など。

理工学部 宇宙航空学科

求める人間像1

- (1) 本学の建学の精神および基本理念を理解し、主体性を持って多様な人間と協働し、学び続ける意欲がある。

求める人間像2(知識・技能)

- (2) 高等学校の教育内容を幅広く学修している。
(3) 理工学を学ぶのに必要な高等学校における「数学」と「理科」の基礎学力を有している。

求める人間像3(思考力・判断力・表現力)

- (4) 基礎学力を応用する力やものごとを論理的に思考する力を有している。
(5) 自分の考えを伝えるための表現力・コミュニケーション力を有している。

求める人間像4(主体性・多様性・協働性)

- (6) 宇宙航空学をはじめ科学技術全般に強い関心と高い学習意欲をもち、制御理論や流体力学、材料力学などに関わる航空機製造や宇宙に関係する領域を通して社会に貢献しようとする意欲がある。

身につけておくと望ましいこと

- ・数学、物理、英語を復習して理解を深めること。
- ・数学では数と式、統計・データの分析、二次関数、三角関数、微分・積分、指数・対数、複素数、ベクトルなど。
- ・物理では物体の運動とエネルギー、力の釣り合い、気体の状態変化、電気・磁気など。

17. 入学検定料の返還

下記「1. 入学検定料返還請求事由」に該当し、かつ下記「4. 返還請求方法」に則り請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。なお、入学検定料の返還には、請求締切以後1～2ヵ月程度かかります。

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
- (2) 出願資格を欠く者が、出願した場合
- (3) 出願締切日後に出願した場合
- (4) 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
- (5) その他

※出願書類提出後、受験を取りやめる、または試験当日欠席した場合は対象となりません。

2. 返還請求受付締切日

下記締切日までに申請してください。【必着】

2024年11月8日(金)

3. 事務手数料

入学検定料返還事務手数料として、整理番号1件につき500円徴収します。返金額は事務手数料を除いた金額となります。

4. 返還請求方法(郵送に限ります)

下記を封入し、宛先左側に「入学検定料返還申請書在中」と朱書きの上、郵送してください。

宛先:〒487-8501 春日井市松本町1200 中部大学入学センター事務局 入試事務課

- (1) 入学検定料返還申請書(本学ウェブサイトから指定様式をダウンロード)
黒ボールペンで必要事項を記入してください。
- (2) 返還申請事由が「5. その他」の場合、診断書などその事実を証明する書類(ただし、領収書、医療費明細書、保険調剤明細書等は、病名や療養期間が判別できないため不可)

5. 返還手続上の注意

- (1) 請求締切日までに必要書類が提出出来ない場合、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、請求を受理しません。なお、訂正は二重線で行い、訂正印を押印してください。
- (2) 入学検定料返還先口座の名義は、志願者本人または保護者としてください。

18. 入試における学力の3要素

入試における選抜方法と学力の3要素の関係性は以下のとおりです。

		強い ← → 弱い		
入試	選抜方法	学力の3要素		
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
同窓生推薦入試	適性検査			
	面接（調査書含む）			
	書類審査			

入学検定料返還申請書

学校法人中部大学理事長 殿

20 年 月 日

私は、入学検定料の返還を申請いたします。

1. 志願者情報

フリガナ				性 別 (○をつける)	男 ・ 女
氏 名					
整理番号	出願確認票記載の「整理番号」を記入してください。				
生年月日	西暦 年 月 日				
住 所	(〒 -)				
	都道府県 市 郡				
電話番号	〈自宅〉 - -		〈携帯〉 - -		

2. 返還請求事由

返還請求事由	次の1～4のうち、該当する番号に○をつけてください。
	1.入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
	2.出願資格を欠くものが出願した場合
	3.出願締切日後に出願した場合
	4.納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合
	5.その他

3. 入学検定料返還先

返還金 振込先	金融機関名	銀行			支店名	支店			支店名 (カタカナ)			
	金融機関 コード				支店コード							
	預金種別	普通			口座番号							
	フリガナ									志願者との続柄		
	口座名義人											

※口座名義は、志願者本人または父母としてください。

※信託銀行を除く銀行を指定してください。ゆうちょ銀行も指定できます。

※ゆうちょ銀行を指定する場合は、他行からの振込用の支店及び口座番号を記入してください。

4. 郵送先

〒487-8501 春日井市松本町1200

中部大学 入学センター事務部 入試事務課

TEL.0568-51-4715



中部大学

〒487-8501 愛知県春日井市松本町 1200 番地 ☎0120-873941
ホームページ <https://www.chubu.ac.jp/> E-mail koho@office.chubu.ac.jp

中部大学は、よりよい環境対策をめざし、エコキャンパスとして、大学全体で取り組んでいます。